

「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善

●教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

令和6年度庄原市 小・中学校一斉学力調査から

(令和7年1月9日～16日実施)

市教育委員会は、市内小・中学校の児童生徒を対象に、本年1月、「庄原市小・中学校一斉学力調査」を行いました。

本調査は、児童生徒一人一人に「基礎・基本の力」や「活用する力」が定着しているかを全国的な視野で把握し、各学校での授業改善や学習指導の充実を図ることを目的としています。

実施教科は次のとおりです。

- ▶ 小学1・2年生…国語・算数
- ▶ 小学3～5年生…国語・社会・算数・理科
- ▶ 小学6年生…国語・社会・算数・理科・英語
- ▶ 中学1・2年生…国語・社会・数学・理科・英語

学力調査を受けて

小学校では、全学年・全教科において、全国平均正答率を上回っており、概ね学力は定着していると言えます。特に、第4学年の社会、第2学年の算数について全国平均を10ポイント以上大きく上回っており、引き続き、自ら課題解決に向けて考え、他者と協働して学びを深める授業づくりを進めていきます。

中学校では、第2学年の社会、理科、英語において、全国平均を下回っており、さらなる授業改善や家庭学習の充実など、基礎学力を確実に定着させるための取り組みが必要です。

これからも各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、児童生徒のさらなる学力の向上に向けて改善計画を立てるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、交流や議論を通して思考を深める授業内容の工夫・改善に取り組んでいきます。

各教科の平均正答率

